

桐生市議会議員

ひ
で
き

いいじま英規

HIDEKI

です。



人に歴史あり。

一冊の本。「こんな食品はドクです」（郡司篤孝著）。**食品添加物とは何だ！**桐生高校二年生時代。社会への眼が開く。思えば、政治家となるきっかけ。

受験を控えた**高校三年**

父の勤めていた織維会社が倒産。生活の基盤を失い、残されたのは、建てたばかりの新居の住宅ローンのみ。四十過ぎての再就職は、ままならず、父は布団の行商人、屋根職人、タクシー運転手等、様々な仕事をして、家族を支える。一方母は、生まれて初めてセーバースの仕事をはじめる。日本生命の外務員。私は、大学受験の断念も考えたが、両親に支えられ、特別奨学金をもらい、大学一年からは授業料免除を受け、歯を食いしばつて大学を卒業。

かん難が人間を玉とする。人一倍の自立心を大學一年のとき就得る。「企業に頼らない」。金儲けの歯車にはならない。小さくとも一国一城の主となる。「下宿に紙をはり、司法試験の勉強をはじめ。法に出会い、理念を知る。この国の主権者は国民。しかし、現実は違う！」社会への静かな怒り。

二十三歳万全の準備をしてのぞんだ二回目の司法試験にやぶれる。完全に自信喪失して、帰郷。以来、大東京火災海上保険株桐生支社、日本生命太田西営業部、(株)信栄(教材販売・学習塾)と二十代、いくつもの仕事を経験。

二十八歳転機が訪れる。結婚の仲人を頼みに

行つた県議会議員から「三十六歳で立候補して落選、今浪人中の衆議院議員予定候補者が秘書を第一党の候補者だった事。理性的な市民の最低限度の責任として、政権交代可能な一大政治勢力をつくるべき! 政治に文句ばかりを言つていてもだめだ。野党を鍛えよう!」

三年一ヶ月の秘書生活。想像を絶する。二十四時間、三百六十五日、年中無休。秘書の一挙手一投足の結果が代議士に。秘書は完全に人格を空にして代議士と同化。須永徹代議士が小川省吾代議士の第一秘書だっただけに、その秘書教育は厳しい。愛情を持つた厳しさだけに否と言えない。無我夢中で過ごした三年一ヶ月、代議士と同化した三年一ヶ月。

それだけに、須永徹代議士を急性心筋梗塞で失ったときの絶望感。今も身震い。須永さんは、素晴らしい兄貴(享年41歳)でした…合掌

三十一歳

裏面へ続く

司法書士法人リーガル・パートナー

【桐生オフィス】 桐生市浜松町1-6-36

Tel 0277-20-6131 Fax 0277-20-6132

【太田オフィス】 〒373-0853 群馬県太田市浜町19番29号

【高崎オフィス】 〒370-0046 群馬県高崎市江木町348番地19

レーベンリヴァーレ高崎ディアレスト906号

有限会社オフィスイイジマ

アフラック、メットライフ生命、オリックス生命、ソニー生命、三井住友海上

【本社】 桐生市川内町2-35-3 Tel・Fax 0277-65-8222

【第一営業所】 リーガル・パートナーハウス内

HIDEKIの過去、現在、そして未来へ…
ボランティア募集中！

検索サイトから [飯島 英規](#) で 検索

いいじま
ひでき
飯島 英規

〒376-0041

桐生市川内町2-35-3

Tel・Fax 0277-65-8222



ご意見・ご要望などお気軽にお電話ください。

<http://iijima-hideki.com> hideki@office-iijima.com

090-7808-7611

